横　浜　市　記　者　発　表　資　料

令　和　元　年　１０　月　４　日
医療局病院経営本部脳卒中・神経脊椎センター
地　域　連　携　総　合　相　談　室

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター市民講演会

救急隊による救急劇で分かりやすく解説します！

もしも脳卒中になったら

～119番と早期治療～

横浜市立脳卒中・神経脊椎センターでは公立の専門病院として脳卒中の予防や初期対応を紹介する講演会を行っています。今年の脳卒中講演会では、専門医による講演に加え、**磯子消防署の救急隊協力による救急劇を初めて行います。**

もし、あなたの周りの人が脳卒中を発症したらどのように行動しますか？

皆さんにも劇を楽しみながら、考えるきっかけにしていただきたいと思います。

講演会概要

日時：10月19日（土）

１３：３０～１５：３０

（１２：３０開場）

会場：関内ホール　大ホール

（横浜市中区住吉町４丁目４２－１）

参加方法：入場無料、申し込み不要、先着1，000人

昨年の様子

第１部　講演「脳卒中　新たな診療体制構築に向けて」

脳卒中の専門医である城倉健副病院長による脳卒中セミナー。昨年成立した「脳卒中・循環器病対策基本法」により検討されている新たな脳卒中の診療体制についても、分かりやすく解説します。

裏面あり

第２部　救急劇「脳卒中、そのときあなたは・・・」

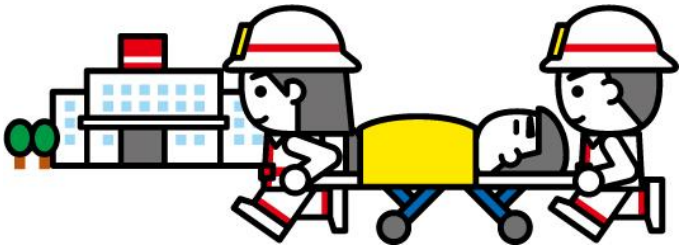
＊早期発見･早期治療

脳卒中は早期発見・早期治療が大切です。脳卒中発症時の症状と発症した際の適切な対応方法の標語である「ＦＡＳＴ※」について、市民の方に覚えてもらい、いざという時大切な人のために行動してもらいたいという思いから、病院職員と磯子消防署救急隊がタッグを組み、救急劇という切り口でお届けします。

※「FAST」　脳卒中の代表的な3つの症状である「顔面の麻痺(F:face)」、「腕の麻痺(A:arm)」、「言葉の障害(S:speech)」に気が付いたら、「すぐに119番(T:time)」という標語。ファスト。

＊一緒にいる人が倒れた！迷わずに救急車呼べますか？

急に目の前で人が倒れたら誰でも驚き戸惑ってしまいます。適切で正確な救急通報のために何をすればよいか、**救急車を呼ぶ時の様子も救急劇に盛り込んでいます。**大切な人を守るために、広く市民の皆様にご覧いただきたい内容となっています。



＊講演「脳卒中治療の最前線」

救急車で搬送された後、どのような治療が行われるのでしょうか。血管内治療の専門医である中居康展医師が、カテーテルという管を血管内に挿入して詰まった血栓を取り除く「血栓回収療法」についても豊富な写真や図で分かりやすく解説します。

同時開催！看護師による健康相談会　13:30～15：30
（お一人 15 分程度）

看護師による健康相談会を、講演時間中にホワイエにて開催します。健康のこと食事のことなど、ご自身のことに関わらずご家族のことでも、お気軽にご相談ください。

昨年寄せられた相談内容の例

・健康診断の結果を見て、脳梗塞が心配になった。
・家族に失語症がある。どのようにコミュニケーションを取っていけばいいか。　など

昨年の様子

※取材については、事前に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問合せ先
医療局病院経営本部横浜市立脳卒中・神経脊椎センター地域連携総合相談室 副室長 八嶋良輔 Tel 045-753-2500